

おおつ社協ニュース

ひまわり

No.148

平成28年11月1日

発行 社会福祉法人 大津市社会福祉協議会 大津市浜大津四丁目1-1 明日都浜大津5階 TEL 077-525-9316



「泣いたら勝ちよ」

幸せ! 楽しい!!
いろいろなふれあい満載!

今年度は全国から330点の応募をいただきました。上位入賞作品は11月中旬より明日都浜大津3階プロムナードに展示します。



「仲よし」



「雪の女王になった気分」



「爺々のお馬さん」



「四人乗り」



「七五三の日」

こんにちは!大津市社会福祉協議会です。

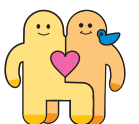
お気軽に「社協(しゃきょう)」と呼んでください。

大津市社会福祉協議会は、市民・当事者が主体の福祉のまちづくりを進める民間団体です。

一人ひとりの困りごとや、地域の困りごとに寄り添いながら、各種団体や企業、専門機関と連携し課題解決にむけた個別支援や地域づくりを進めています。

トピックス

- ▶ 災害ボランティアセンター
- ▶ 赤い羽根共同募金



常設型 災害ボランティアセンター 活動報告

大津市社会福祉協議会では、平成28年4月より災害ボランティアセンターを常設し、平常時から「災害に強いまちづくり」を推進しています。

災害ボランティアセンターとは、被災者の気持ちに寄り添いながら、災害に関する困りごとと、被災地支援のボランティア活動を結びつける機能をもつセンターのことです。

市民の皆様への災害ボランティア活動の広報・啓発や、災害時に関係機関が協力できるネットワークづくり、市内外の被災地への災害支援活動等に平常時から取り組みます。

啓発

災害ボランティア事前登録をしませんか？

市内、県内で災害が発生した場合にボランティア活動にご協力いただける方の事前登録制度を始めました。

皆様のご登録をお待ちしています。

登録すれば…

- ・災害ボランティアに関する協力要請及び情報提供
- ・各種研修会の案内
- ・登録者の情報交換会の開催



【問い合わせ先】

大津市災害ボランティアセンター
TEL (077) 525-9316

ネット ワーク



障害者福祉センターで開催

各地域の災害ボランティアについての研修会に協力



ダンボールがベッドになる



新聞がスリッパになる

災害 支援

9月18日(日)真野北小学校で開催の大津市総合防災訓練に参加しました

「現地の災害ボランティアセンター」を想定し、地域の学区社会福祉協議会、民生委員児童委員の方をはじめ、各種団体のみなさんと協働でセンターの設置・運営訓練を行いました。



参加者の声

災害ボランティアセンターについてもっと知りたい



参加者の声

災害時に頼りになる皆さんとお会いできてよかった



参加者の声

地域での支え合いが普段から大事

地域の皆さんと協働で訓練できたことが、何よりの成果と感じています。今回参加された皆さんの貴重なご意見については、今後の課題として取り組んでまいります。

富士見学区社会福祉協議会



◀滋賀MKタクシー(株)より支援物資を頂く。

滋賀MKタクシー(株)社長

「市社協の事業を知り、この大切な事業を続けて欲しいと思います。」

富士見学区社会福祉協議会では、地域の企業に対して、大津市社協に支援物資を提供していただけるように5年前から協力依頼をされています。

富士見学区社協の吉田会長は「物資をいただくだけが目的ではなく、企業の皆さんに市社協を知っていただくことが大事」と話され、企業の方と一緒に市社協の窓口に来られます。

市社協がこういった組織であるか、支援物資がどのように使われているかを説明し、社協活動の理解者を増やす機会となっています。

協力企業紹介 (敬称略)

- ・(株)近畿アド ・江州計器工業(株)
- ・滋賀MKタクシー(株) ・フレンドマート膳所店 他



「南三陸応援団交流イベント in 大津」が開催されました!

9月10日(土)に南三陸応援団の交流イベントが、びわこ大津プリンスホテルで開催されました。県内外から150名を超える方々がお越しになり、タコやホタテなどの南三陸産の海の幸に舌鼓をうちながら交流を行いました。また国際親善合唱団による合唱や物産展もあり、大盛況のイベントとなりました。



災害をいつまでも忘れず応援を続けていきます

詳しくは [南三陸応援団](#) [検索](#)

生活支援物資にたくさんのご協力ありがとうございました。

いただいた支援物資は緊急的な支援として大きな支えとなっています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



☆お米 787kg、缶詰 227点、カップめん883食、袋ラーメン・乾麺478食、レトルト食品 256点、その他日用品等多数いただきました。(平成28年7月1日～平成28年8月31日)

利用者の声

骨折による休職で、無給となられ来会。食料の支援と福祉資金貸付で支援した約1ヵ月後、『何とか職場復帰できました。みなさんに親切にしてもらいとても助かり、地域の方に感謝しています』と連絡がありました。(40代男性・4人世帯)



ありがとうございました

(敬称略・単位:円)

(平成28年5月1日～平成28年8月31日まで)

善意銀行

5月10日	9,480	▽読売センター石山・寺辺・大津南・北大津
6月8日	100,000	▽匿名
6月10日	24,420	▽読売センター石山・寺辺・大津南・北大津
6月23日	100,000	▽有限会社 三王都市開発
7月8日	13,120	▽読売センター石山・寺辺・大津南・北大津
6月11日	30,000	▽鳥居 静夫
7月26日	10,000	▽フェリーチェ チャリティコンサート事務局
8月10日	26,920	▽読売センター石山・寺辺・大津南・北大津
8月10日	1,000	▽唐崎地区民生委員児童委員協議会
8月18日	55,635	▽観念寺 高野常隆
8月23日	8,750	▽(株)そごう西武労働組合
8月25日	50,000	▽西福寺 黒川英正
8月25日	10,000	▽西村 和子

物品寄付

6月15日	おついいとご切符170円区間専用6回券 104冊	▽京阪電気鉄道株式会社有志
7月10日	ポータブルトイレ(新品)	▽小野 達史
8月2日	端布、着物、反物	▽服部 順子
8月31日	子ども用いす(介助用)	▽川田 尚

賛助会費にご協力ありがとうございました

(順不同、敬称略、氏名掲載に同意され、平成28年3月1日～8月31日までに、ご入金いただいた方)

中井喜八郎	日本防災士会 滋賀支部	福島久江
西村敏廣	滋賀地区民生委員児童委員協議会	田中勉
大芝洋	西村義則	木戸学区社会福祉協議会
深田弥子	青山学区社会福祉協議会	水谷安吉
川村外久	野原稔	森田定雄
波多野敏彦	木村準一	森富査子
尾木重愛	久西一郎	シニアあんしん倶楽部
滝澤八重子	戸知谷俊治	おむろんラフティ タンホ会
平野和廣	豊野北学区社会福祉協議会	シニア関西地区センター
木上優子	堀井千恵子	横田正弘
辻川幹男	廣岡和司	羽野茂男
谷砂三治	尾木哲	田上利勝
木内宮家	吉村哲	上田利明
間宮博二	西亀井勝太	猪飼愛子
古瀬建一	片岡定男	猪飼清蔵
奥中山男子	濱野治子	山崎重清
西脇和子	羽田和明	坂口清
津田洋一	河本耕之	ラ・ケアながら
北村幸子	楠本耕之	(公財)河本文教福祉振興会
山本幸治	金井長純	介護老人福祉施設リバー
田邊千代	溝江誠	内田一豊
小林千彦	溝江清美	山口玄洞
久義正彰	下郷地区民生委員児童委員協議会	(社)福小鳩会
福田正彰	膳所学区社会福祉協議会	熊澤伊佐耶
酒井英夫	國友円	尾浦与子
北村清勉	長崎俊昭	柳まちづくり大津
柳飛田幸男	中西耕司	綾羽城大津本社事務所
壺井保子	矢野樹	谷口正昭
深田深松	堀内敦司	三上昭
	田中豊治	心山恵美子
	戸田宏明	栄光住宅(株)
	植田道広	リールサポート 山田武史
		読売センター読売ロータリー
		司法書士 森島清子
		北村清幸
		ニューワンス(株)

賛助会費(H28.3.1～H28.8.31) 217件 750,000円



ひまわり

No.148

総合ふれあい相談

日頃の心配ごとをお聴きします。どんなことでもお気軽にご相談ください。

場所	日程	時間
大津市社会福祉協議会 ☎525-5250	月～金 (祝日を除く)	9:00～17:00

場所	日程 (祝日・年末年始除く)	時間
和邇公民館	第1・3水曜日	13:30～15:30 予約不要
アルプラザ堅田3F	第1・3火曜日	
坂本市民センター	第1・3水曜日	
逢坂市民センター	第2・4水曜日	
晴嵐市民センター	第1・3金曜日	
南郷市民センター	第1・3月曜日	
アルプラザ瀬田4F (きらきら広場内)	第2・4火曜日	

●秘密厳守・無料●

ファミリーサポートセンター援助会員募集!!

子育てにやさしい街、大津をめざして

子育ての応援をしていただける『まかせて(援助)会員』を募集しています。

説明会：11/18(金)10時～11時

1/11(水)14時～15時

場所：明日都浜大津5階中会議室

☎ (077)511-3150

FAX(077)511-3450



おかげさまで70周年

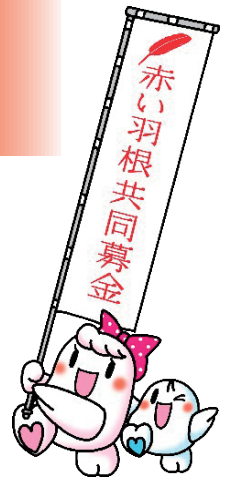
集められた"やさしさ"で おおつのまちが元気になります

赤い羽根共同募金で集まった募金の約70%は大津市内の福祉のために、残りの30%は、滋賀県内での福祉活動や災害支援に使われています。

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」です。

おおつのまちの困りごとを自分の困りごととして捉え、行動する人が増えていくことで、おおつのまちがもっとやさしくなります。

「おおつのまちを良くするしくみづくり」のために、みなさまのあたたかいご協力をよろしくおねがいします。



～ 知っていますか? 赤い羽根共同募金 ～

Q. 赤い羽根共同募金はいつから始まったの?

A. 1947(昭和22)年から始まりました。その当時は、第2次世界大戦が終わったばかりで、家を焼かれたり、お父さんお母さんがけがをしたり亡くなったりした子どもたちがたくさんいました。そこで、困っている人たちのために、みんなで助け合っていこうと、赤い羽根募金で日本中でおこなわれました。たすけあいの心は70年も続いているのです。



Q. 赤い羽根共同募金はどのように活用されているの?

A. 例えば、一人暮らしの高齢者にお弁当をお届けしたり、公民館等で開催される親子や高齢者が参加できる交流会・講習会の開催や、障がい者施設への助成など、地域の困りごとの手助けをおこなっています。また保育園や幼稚園へおもちゃや絵本を寄贈しています。

平成26年度からは、地域の福祉活動を行なっている団体を対象に公募助成制度(1団体10万円)もおこなっています。



社会福祉法人 **大津市社会福祉協議会**

〒520-0047 大津市浜大津四丁目1-1 明日都浜大津5階

でんわ (077)525-9316(代表)

ファックス (077)521-0207

E-mail info@otsu-shakyo.or.jp



<http://otsu-shakyo.or.jp>